

平成23年度

コミュニティで創る 新しい高齢社会のデザイン 研究開発領域第1回シンポジウム



定員
450名

プログラム (予定・敬称略)

- 10:00~10:05 ▶ 開会挨拶 (5分)
有本 建男 ((独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター センター長)
- 10:05~10:35 ▶ 基調講演「人間はどのようにして年をとるか ~考え方の変遷~」(30分)
柴田 博 (領域アドバイザー/人間総合科学大学保健医療学部長・大学院教授)
- 10:35~10:45 ▶ 「コミュニティで創る高齢社会のデザイン」研究開発領域について (10分)
秋山 弘子 (領域総括/東京大学高齢社会研究機構 特任教授)
- 10:45~12:00 ▶ 平成23年度採択プロジェクト紹介 75分 (各プロジェクト発表15分)
『社会資本の活性化を先導する歩行圏コミュニティづくり』
中林 美奈子 (富山大学 大学院医学薬学研究部 准教授)
『「仮設コミュニティ」で創る新しい高齢社会のデザイン』
大方 潤一郎 (東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 教授)
『高齢者の虚弱化を予防し健康余命を延伸する社会システムの開発』
新開 省二 (地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)
『高齢者の営農を支える「らくらく農法」の開発』
寺岡 伸悟 (奈良女子大学 文学部人文社会学科 准教授)
『高齢者による使いやすい検証実践センターの開発』
原田 悦子 (筑波大学人間系心理学域 教授)
- 12:00~12:50 ▶ 昼休憩 (50分)
- 12:50~13:50 ▶ 平成22年度採択プロジェクト進捗報告 60分 (各プロジェクト発表15分)
『在宅医療を推進する地域診断標準ツールの開発』
太田 秀樹 (医療法人アスミス 理事長)
『新たな高齢者の健康特性に配慮した生活指標の開発』
鈴木 隆雄 (独立行政法人国立長寿医療研究センター 研究所長)
『ICTを活用した生活支援型コミュニティづくり』
小川 晃子 (岩手県立大学社会福祉学部・地域連携本部 教授/副本部長)
『セカンドライフの就労モデル開発研究』
辻 哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構 教授)
- 13:50~13:55 ▶ 休憩 (5分)
- 13:55~15:00 ▶ パネルディスカッション《65分 (全体質疑15分含む)》
テーマ「高齢者がはつらつと暮らすコミュニティとは」
—コミュニティにアクティブシニアが活躍できる場を創る—
モデレーター: 岡本 憲之 (領域アドバイザー/日本シンクタンクアカデミー理事長)
コメンテーター: 秋山 弘子 (領域総括)
木村 清一 (領域アドバイザー/東京大学 高齢社会総合研究機構学術支援専門職員)
パネリスト: 鈴木 隆雄、辻 哲夫、大方 潤一郎、寺岡 伸悟、原田 悦子
- 15:00~15:10 ▶ 休憩 (10分)
- 15:10~16:15 ▶ パネルディスカッション《65分 (全体質疑15分含む)》
テーマ「生涯安心して自分らしく住み続けられるコミュニティとは」
—日本におけるエイジングインプレイスを考える—
モデレーター: 秋山 弘子 (領域総括)
コメンテーター: 永田 久美子 (領域アドバイザー/認知症介護研究・研修
東京センター研究部副部長・ケアマネジメント推進室長)
大島 伸一 (領域アドバイザー/国立長寿医療研究センター総長)
パネリスト: 太田 秀樹、小川 晃子、新開 省二、中林 美奈子
- 16:15~16:25 ▶ まとめ (10分)
秋山 弘子 (領域総括)
- 16:25~16:30 ▶ 閉会挨拶 (5分)
斎藤 尚樹 ((独) 科学技術振興機構社会技術研究開発センター 企画運営室室長)

事前
登録制

参加費無料



平成24年2月22日(水)
10:00~16:30(開場9:45)



会場

独立行政法人
国立大学財務・経営センター
「一橋記念講堂」

東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター

交通のご案内



- ・東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線、都営地下鉄新宿線
神保町駅下車 A8出口から徒歩3分
- ・東京メトロ東西線・竹橋駅下車 1B出口から徒歩4分

主催 ▶ 独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

下記のURLからお申し込み下さい。
FAXでお申し込みの際にはリーフレットのFAX申込書をご使用になる
か、「高齢社会領域第1回シンポジウム(2月22日)参加申込」と明記
いただき、①お名前 ②ご所属 ③ご連絡先住所 ④電話・FAX番号
⑤今後のDM案内希望の有・無 を記入の上、右記事務局まで送信願います。
※定員(450名)になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。

お申し込み
方法

お問い合わせ

平成23年度「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」
研究開発領域 第1回シンポジウム事務局
〒110-0016 東京都台東区台東4-27-5 秀和御徒町ビル8F
(株)イベントアンドコンベンションハウス内 担当:橋本・杉沼
TEL: 03-3831-2601 FAX: 03-5807-3019
E-mail: jst-korei-shakai-sympo@ech.co.jp

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.ech.co.jp/jst-korei-shakai-sympo/>

開催にあたって

領域総括 秋山 弘子

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

世界最長寿国の日本は、まだどこの国も解決したことのない高齢社会の課題に挑戦し、世界に先駆けてモデルをつくっていかねばなりません。2010年に創設された研究開発領域「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」では、今回、平成22年度および平成23年度に取り組んできた活動成果をできるだけ多くの方々と共有するために研究開発領域第1回シンポジウムを開催します。

オピニオン・リーダーとしてこの分野の牽引者である柴田博氏に基調講演をお願いしました。長寿社会のパイオニアとして私たちはどう生きるか、示唆に富むお話をうかがえると期待しております。

本研究開発領域では、初年度に110件の応募から厳選して4つのプロジェクトを採択しました。また今年度には65件の応募から5つのプロジェクトを採択しました。いずれも、人生90年といわれる長寿社会において、できるだけ長く健康で自立して生活をする、たとえ弱っても安心して自分らしく生きる、そして、個々人に多様なライフデザインを可能にするコミュニティの実現に確実に貢献するであろうと判断したプロジェクトです。今回のシンポジウムでは9つのプロジェクトの取り組みをご紹介しますとともに、今後、わが国におけるコミュニティが目指すべき方向性について、2つの視点からパネルディスカッションを行います。

多くの方々のご参加と忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

プログラム (予定・敬称略)

10:00～10:05

開会挨拶 (5分)

有本 建男 ((独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター センター長)

10:05～10:35

基調講演

「人間はどのようにして年をとるか ～考え方の変遷～」 (30分)

柴田 博 (領域アドバイザー/人間総合科学大学保健医療学部長・大学院教授)

10:35～10:45

「コミュニティで創る高齢社会のデザイン」

研究開発領域について (10分)

秋山 弘子 (領域総括/東京大学高齢社会研究機構 特任教授)

10:45～12:00

平成23年度採択プロジェクト紹介 75分 (各プロジェクト発表15分)

『社会資本の活性化を先導する歩行圏コミュニティづくり』

中林 美奈子 (富山大学 大学院医学薬学研究部 准教授)

『「仮設コミュニティ」で創る新しい高齢社会のデザイン』

大方 潤一郎 (東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 教授)

『高齢者の虚弱化を予防し健康余命を延伸する社会システムの開発』

新開 省二 (地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)

『高齢者の営農を支える「らくらく農法」の開発』

寺岡 伸悟 (奈良女子大学 文学部人文社会学科 准教授)

『高齢者による使いやすい検証実践センターの開発』

原田 悦子 (筑波大学人間系心理学域 教授)

12:00～12:50

昼休憩 (50分)

12:50～13:50

平成22年度採択プロジェクト進捗報告 60分 (各プロジェクト発表15分)

『在宅医療を推進する地域診断標準ツールの開発』

太田 秀樹 (医療法人アスミス 理事長)

『新たな高齢者の健康特性に配慮した生活指標の開発』

鈴木 隆雄 (独立行政法人国立長寿医療研究センター 研究所長)

『ICTを活用した生活支援型コミュニティづくり』

小川 晃子 (岩手県立大学社会福祉学部・地域連携本部 教授/副本部長)

『セカンドライフの就労モデル開発研究』

辻 哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構 教授)

13:50～13:55

休憩 (5分)



13:55～15:00

パネルディスカッション《65分 (全体質疑15分含む)》

テーマ

「高齢者がはつらつと暮らすコミュニティとは」
—コミュニティにアクティブシニアが活躍できる場を創る—

■モデレータ

岡本 憲之 (領域アドバイザー/日本シンクタンクアカデミー理事長)

■コメンテーター

秋山 弘子 (領域総括)

木村 清一 (領域アドバイザー/東京大学 高齢社会総合研究機構
学術支援専門職員)

■パネリスト

鈴木 隆雄、辻 哲夫、大方 潤一郎、寺岡 伸悟、原田 悦子

15:00～15:10

休憩 (10分)

15:10～16:15

パネルディスカッション《65分 (全体質疑15分含む)》

テーマ

「生涯安心して自分らしく住み続けられるコミュニティとは」
—日本におけるエイジングインプレイスを考える—

■モデレータ

秋山 弘子 (領域総括)

■コメンテーター

永田 久美子 (領域アドバイザー/認知症介護研究・研修 東京センター
研究部副部長・ケアマネジメント推進室長)

大島 伸一 (領域アドバイザー/国立長寿医療研究センター総長)

■パネリスト

太田 秀樹、小川 晃子、新開 省二、中林 美奈子

16:15～16:25

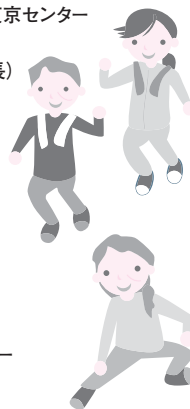
まとめ (10分)

秋山 弘子 (領域総括)

16:25～16:30

閉会挨拶 (5分)

斎藤 尚樹 ((独) 科学技術振興機構社会技術研究開発センター
企画運営室室長)



FAX用申込書

必要事項をご記入の上、下記FAX番号にお送りください。

平成23年度 コミュニティで創る
新しい高齢社会のデザイン
研究開発領域第1回シンポジウム

ふりがな				ご所属	
お名前 必須				必須	
ご住所 (連絡先)	〒				
TEL番号		FAX番号 必須			
E-mail アドレス				今後、ご登録いただいたメールアドレスやご住所宛に、 本領域やRISTEXのシンポジウム等のお知らせを ☐ 希望する ☐ 希望しない ※未回答の場合は、 希望しないとさせていただきます。	

FAX.03-5807-3019

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.ech.co.jp/jst-korei-shakai-sympo/>



お送りください。
付属のFAX申込書に必要事項をご記入の上、上記FAX番号へ

FAX 03-5807-3019

※定員(450名)になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。
FAX、ホームページにてお申し込みください。
(株)イベントコンベクション・ハイクス内 担当:橋本・杉沼まで
研究開発領域第1回シンポジウム事務局
平成23年度「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」



お申し込み方法

平成23年度

コミュニティで創る 新しい高齢社会のデザイン 研究開発領域第1回シンポジウム



定員
450名

事前
登録制
参加費無料



平成24年2月22日(水) 10:00~16:30(開場9:45)

会場 ▶ 独立行政法人 国立大学財務・経営センター「一橋記念講堂」
東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター

主催 ▶ 独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

